

## 重田先生の「講義 2-3 MOOC の特徴」に出てくる用語の説明

**MOOC (ムーク)** : Massive Open Online Courses

大規模公開オンライン講座。数万人の規模で受講生がいる。無料で受講できる。このビデオ講義も MOOC の一種。

**Open Course Ware (オープンコースウェア)**

正規講義で用いている教材や授業予定表、講義ビデオなどを無償でネットに公開。MIT (マサチューセッツ工科大学) が始め、多数の大学がそれに続いた。教員からの指導や修了認定は無し。

**OER (オーイーアール)** : Open Educational Resources

オープン教材。ネットに公開された教育用素材。ユネスコも OER が広まるのを支援している。大学や企業に限らず、個人が作る OER も増えてきている。

**単位**

大学などで進級・卒業するために必要なポイント数。通常、1 つの科目に合格すると 2 単位が認定される。

**オープンバッジ**

修了証の一種。バッジの画像ファイルの中に、どういう科目や技能を認定したかのデータが書き込まれている。

**学習コミュニティ**

ネット上の”同級生”の集まり。ネット経由での学習を途中であきらめずに続けるには、学ぶ者同士の励ましあい、教えあいがとても効果的。

**(いわゆる)eラーニング**

ここでは、大学などの講義を講義室で実施する代わりに、ネット経由で実施することを指す。授業料を支払った者しか受講できない。

## ビデオ視聴後の小テスト

MOOC の特徴について述べた次の 1. から 5. までの文章は、それぞれ○か×か。

1. MOOC では、教員に質問することが可能で、受講者同士の議論ができる場も用意されていることが多い。
2. MOOC は、インターネット環境さえあれば世界中の誰でも受講でき、受講者の修了率は平均して 5 割を超える。
3. MOOC にはオンライン上で議論する場が設けられているが、受講者同士で実際に会うことは原則として禁止されている。
4. MOOC は無料で公開されており、学生に限らず誰でも受講することが出来る。
5. MOOC を修了しても原則として単位認定されないが、修了証を交付してもらうことが出来る。